平成 24 年８月 21 日

各　位

会　社　名　テ　ラ　株　式　会　社
代 表 者 名　代表取締役社長社長執行役員　矢 﨑　雄 一 郎
（コード番号：２１９１）
問 合 せ 先　取締役常務執行役員　山 本　龍 平
電　　話　０３－６２７２－６４７７

WT1 ペプチドに関する特許の独占実施権の許諾地域追加及び期限延長について

当社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：矢﨑　雄一郎）は、この度、WT1ペプチドに関する特許を保有する株式会社癌免疫研究所（本社：大阪府吹田市、代表取締役社長：寺井　順一）と独占的特許実施許諾（以下、独占実施権）契約を変更する合意書を締結いたしました。

この合意書により、アジアにおける独占実施権の許諾地域について、従来の日本及び中国に加えて、他の諸国も追加されました。経済成長が著しく、先端的ながん治療のニーズ拡大が今後も期待できるインドネシア、マレーシア、シンガポール等のASEAN諸国においても、WT１ペプチドを用いた樹状細胞ワクチン療法等に関する技術・ノウハウを独占的に提供することが可能となります。
また、独占実施権の有効期間の期限が平成28年12月31日から特許の存続期間満了日に延長されました。

WT1ペプチドは、大阪大学の杉山治夫教授等によって発見された、WT1（Wilms’ tumor gene 1)と呼ばれるたんぱく質の一部であり、世界でも有名ながん抗原（がんの特徴）の一つです。ほぼ全てのがん（血液がんも含む）に存在しており、この物質を用いることによって、より多くのがん患者の方に対して樹状細胞ワクチン療法を提供することが出来ます。

今回の合意書締結に基づき、当社は、ASEAN諸国及び中国を中心としたアジア諸国においてWT１ペプチドを用いた樹状細胞ワクチン療法等の普及に向けた活動を加速させてまいります。

なお、本件による今期業績への影響は軽微であります。

【※】樹状細胞ワクチン療法
本来、血液中に数少ない樹状細胞を体外で大量に培養し、患者のがん組織や人工的に作製したがんの目印である物質(がん抗原)の特徴を認識させて体内に戻すことで、樹状細胞からリンパ球にがんの特徴を伝達し、そのリンパ球にがん細胞のみを狙って攻撃させる新しいがん免疫療法をいいます。

以　上